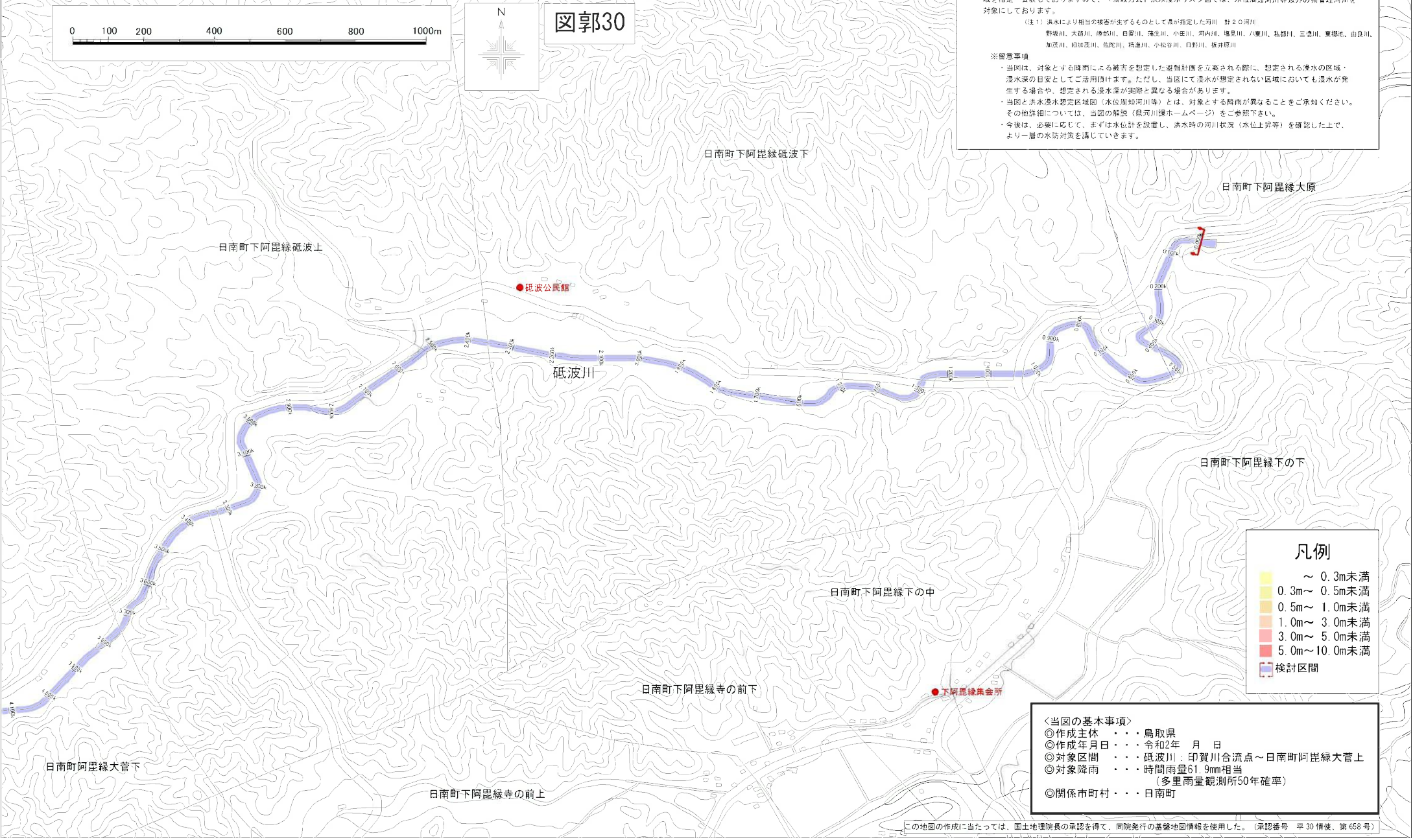


「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系砥波川下流】



図郭30

◀「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは▶
 住民の皆様との適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計2の河川
 野原川、大瀬川、神野川、日野川、蒲生川、小瀬川、河内川、瑞雲川、八重川、私野川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、日笠川、佐野川、新瀬川、小松谷川、日野川、橋井原川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、懸念される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その相違については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。



凡例

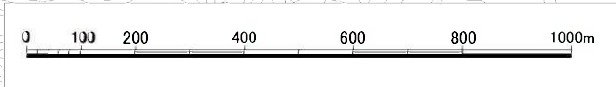
Yellow	～ 0.3m未滿
Light Yellow	0.3m～ 0.5m未滿
Orange	0.5m～ 1.0m未滿
Light Red	1.0m～ 3.0m未滿
Red	3.0m～ 5.0m未滿
Dark Red	5.0m～ 10.0m未滿
Blue outline	検討区間

◀当図の基本事項▶
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・砥波川：印賀川合流点～日南町阿毘縁大管上
 ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当
 （多里雨量観測所50年確率）
 ◎関係市町村・・・日南町

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情復、第658号）

「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系砥波川上流】

図郭31



＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
 住民の皆様は適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全国的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。
（注1）洪水により周知の被害が及ぶものとして県が指定した河川：野原川、野原川、大津川、神野川、日野川、深生川、小田川、河内川、塚野川、八雲川、私郡川、三原川、東郷川、由良川、加茂川、日加茂川、佐陀川、猪瀬川、小松谷川、日野川、板井原川

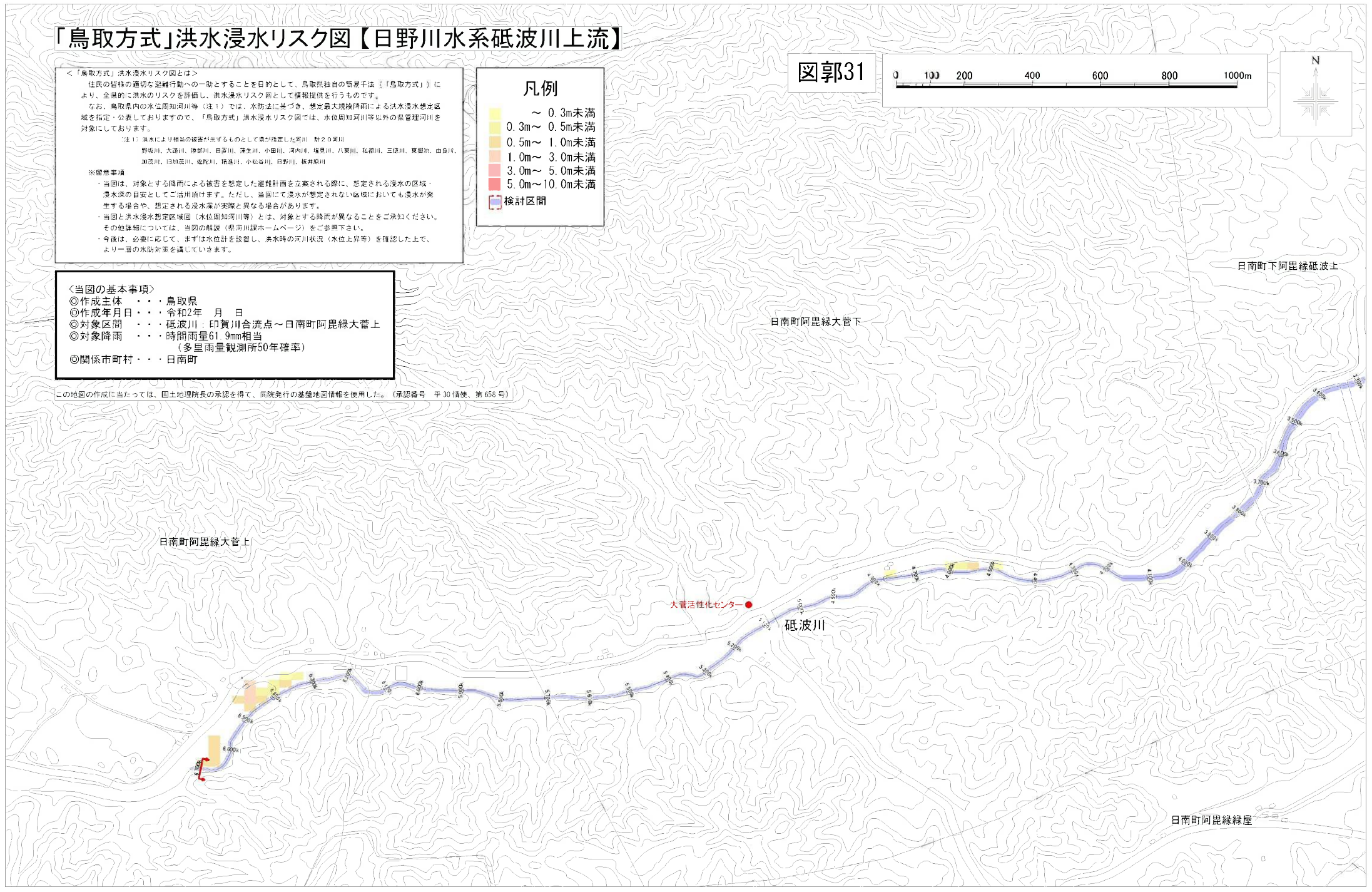
※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご確認ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

凡例

（黄緑色）	～ 0.3m未満
（黄色）	0.3m～ 0.5m未満
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未満
（赤）	1.0m～ 3.0m未満
（赤紫）	3.0m～ 5.0m未満
（黒）	5.0m～ 10.0m未満
（赤枠）	検討区間

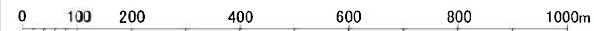
＜当図の基本事項＞
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・砥波川：印賀川合流点～日南町阿毘緑大菅上
 ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当
 （多量雨量観測所50年確率）
 ◎関係市町村・・・日南町

この地区の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、国院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 656 号）



「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系佐木谷川】

図郭32



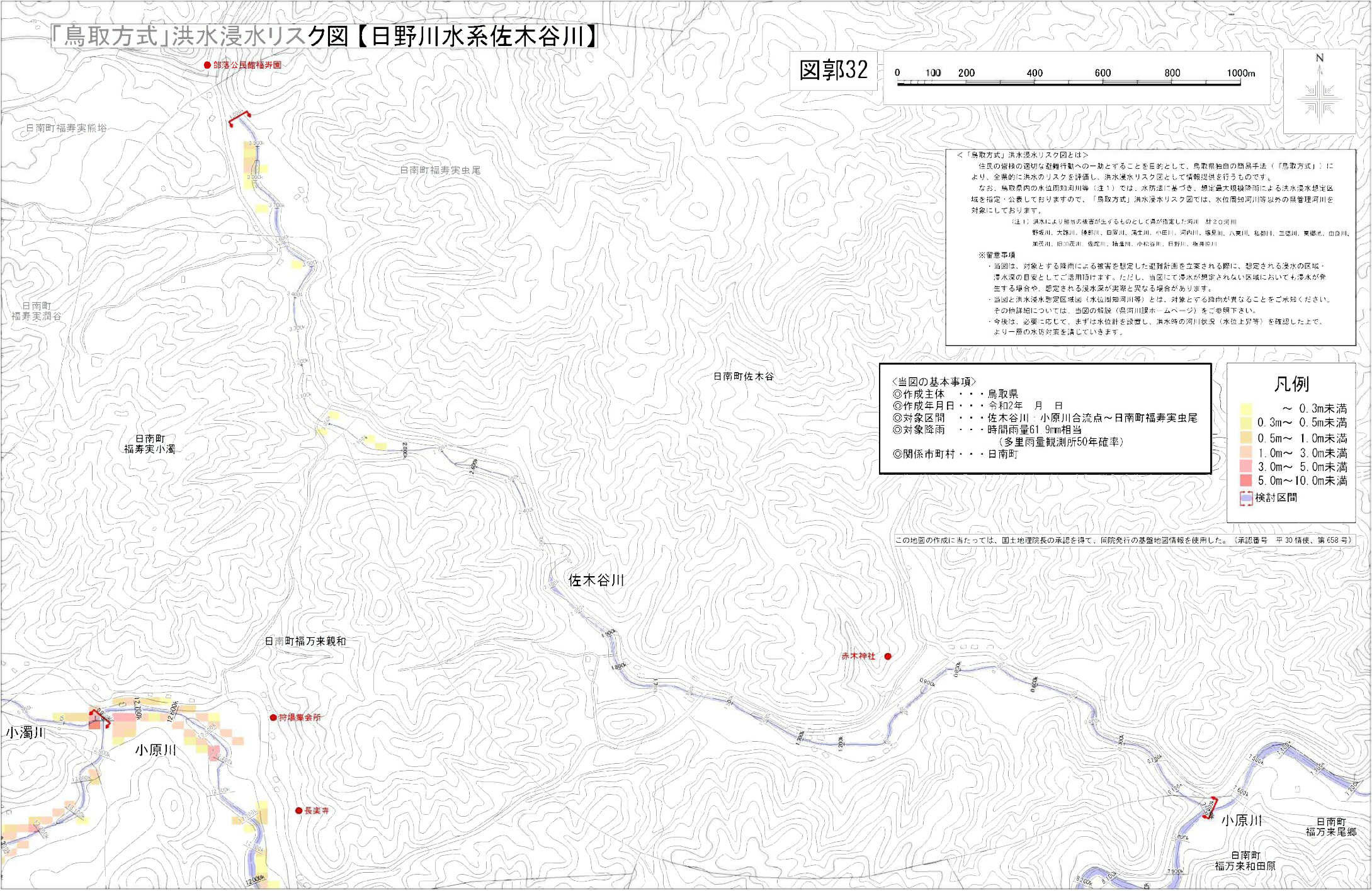
＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
 住民の皆様との適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全般的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位用知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位用50河川等以外の県管理河川を対象にしております。
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野原川、大窪川、穂積川、日原川、清北川、小庄川、河内川、橋原川、八栗川、私助川、三徳川、東郷川、由良川、新庄川、田代川、佐野川、柳瀬川、小松谷川、日野川、秋瀬川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご利用いただけます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても、浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位用知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

＜当図の基本事項＞
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・佐木谷川：小原川合流点～日南町福寿実虫尾
 ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当
 （多里雨量観測所50年確率）
 ◎関係市町村・・・日南町

凡例

（薄黄色）	～ 0.3m未滿
（黄色）	0.3m～ 0.5m未滿
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未滿
（赤）	1.0m～ 3.0m未滿
（赤）	3.0m～ 5.0m未滿
（赤）	5.0m～ 10.0m未滿
（赤枠）	検討区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第658号）



「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系笠木川】 図郭33

0 100 200 400 600 800 1000m



● 山上地域振興センター

● 穂日谷公会堂

日南町茶屋細屋

日南町笠木鉄穴内

日南町笠木懸日鉄

笠木川

小原川

日南町福万来狩場

日南町笠木大原

日南町笠木共栄

日南町笠木小雀

日南町笠木谷中

日南町笠木山裏

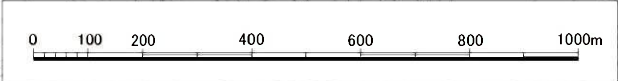
〈当区の基本事項〉
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・笠木川：小原川合流点～日南町笠木山裏
 ◎対象降雨・・・時間雨量61.9mm相当
 （多里雨量観測所50年確率）
 ◎関係市町村・・・日南町

凡例

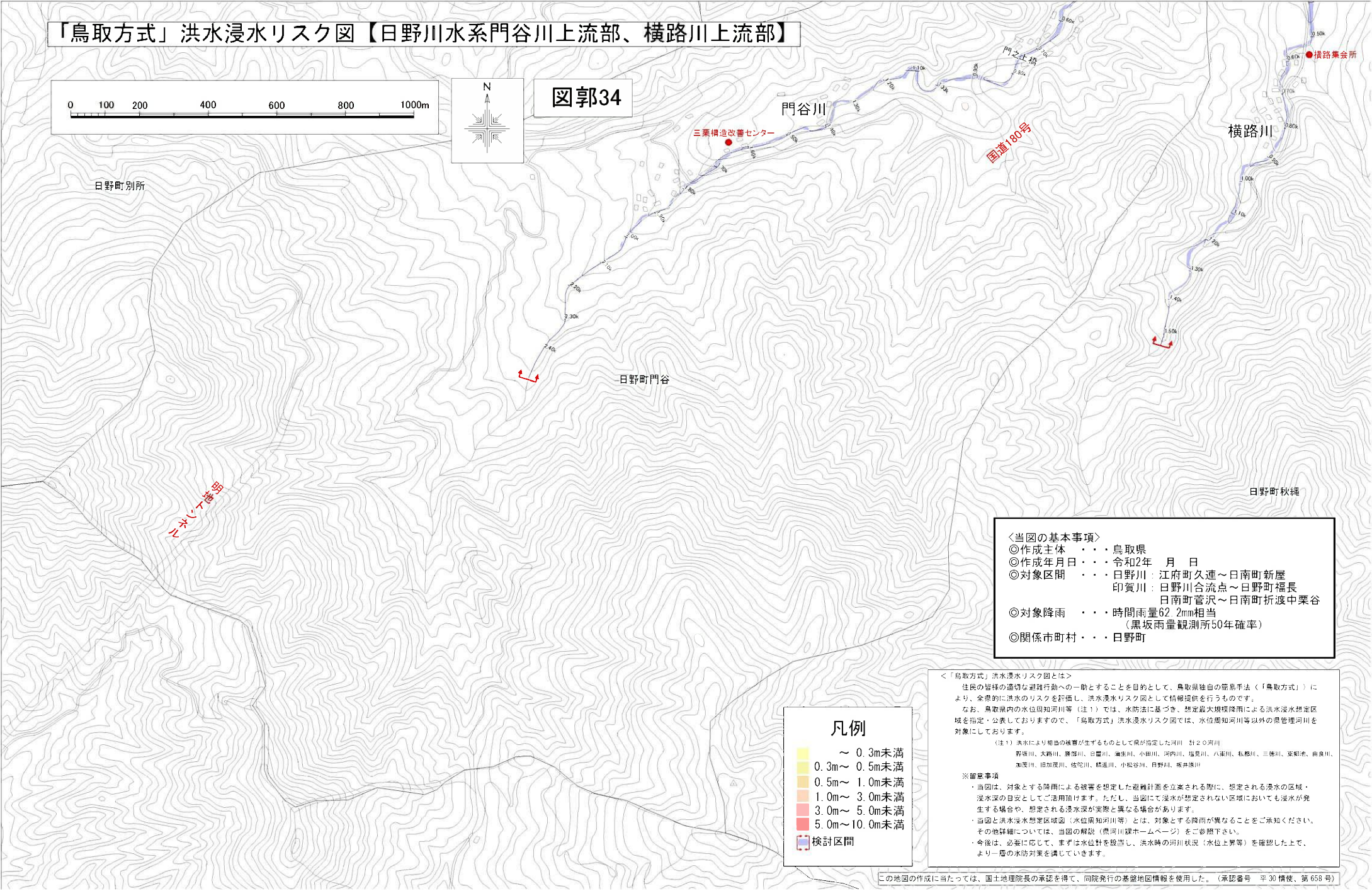
■	～ 0.3m未満
■	0.3m～ 0.5m未満
■	0.5m～ 1.0m未満
■	1.0m～ 3.0m未満
■	3.0m～ 5.0m未満
■	5.0m～ 10.0m未満
■	検討区間

〈「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは〉
 住民の皆様との適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等〔注1〕では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。
 〔注1〕洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計2の河川
 野添川、大鷲川、鎌削川、日置川、滝生川、小田川、河内川、塩見川、八瀬川、秋瀬川、三途川、栗郷川、由良川、加勢川、尾知川、佐野川、鶴瀬川、中松谷川、日野川、福井原川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合がございます。想定される浸水深が実態と異なる場合がございます。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その地詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位計算等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

「鳥取方式」洪水浸水リスク図【日野川水系門谷川上流部、横路川上流部】



図郭34



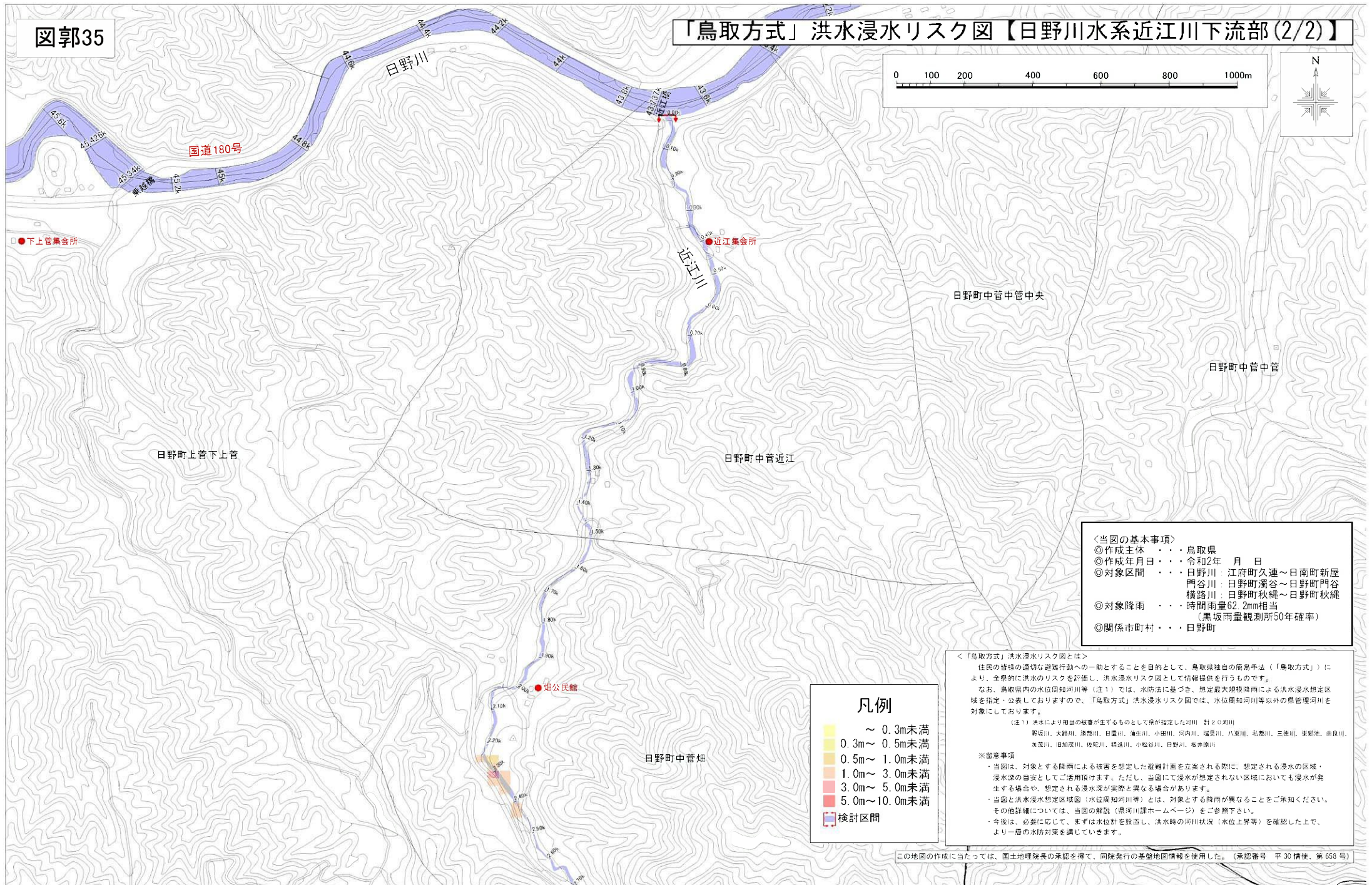
＜当図の基本事項＞
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
 ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋
 印賀川：日野川合流点～日野町福長
 日南町菅沢～日南町折渡中葉谷
 ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
 （黒坂雨量観測所50年確率）
 ◎関係市町村・・・日野町

凡例

Yellow	～ 0.3m未滿
Light Orange	0.3m～ 0.5m未滿
Orange	0.5m～ 1.0m未滿
Dark Orange	1.0m～ 3.0m未滿
Red	3.0m～ 5.0m未滿
Dark Red	5.0m～ 10.0m未滿
Red outline	検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全体的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野添川、大路川、藤原川、日置川、備前川、小田川、河内川、塩原川、八重川、私懸川、三徳川、安部池、由良川、加茂川、追加茂川、佐陀川、碓氷川、小松谷川、日野川、坂井川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・事後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 658 号）



＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
- ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋
門谷川：日野町門谷～日野町門谷
横路川：日野町秋縄～日野町秋縄
- ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
（黒坂雨量観測所50年確率）
- ◎関係市町村・・・日野町

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。

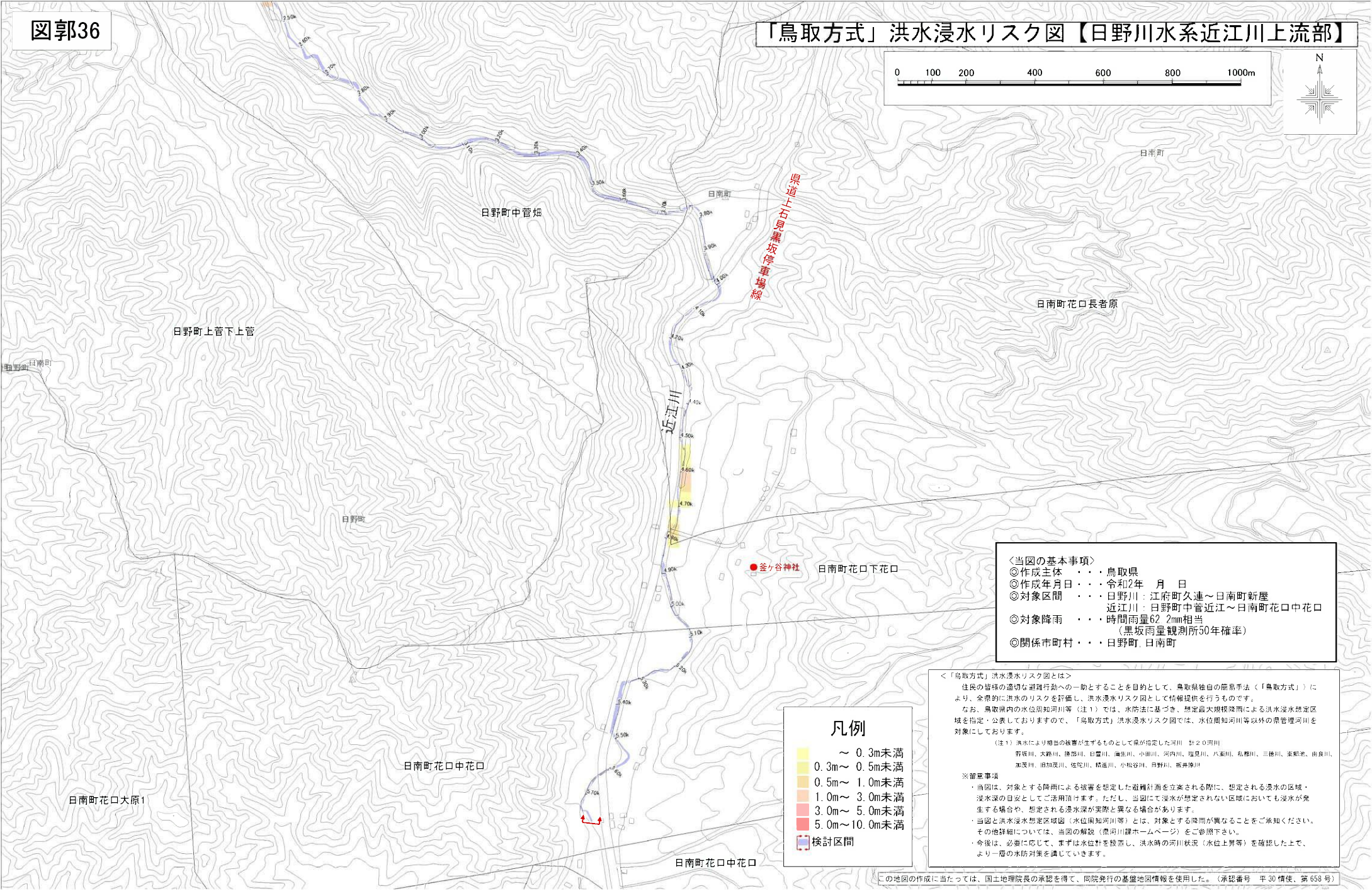
（注1）洪水により種々の被害が生ずるものとして係が指定した河川 計20河川
野原川、天路川、膝形川、日置川、備前川、小田川、河内川、堤良川、八束川、萩野川、三徳川、東郷川、由良川、東渡川、田加茂川、後院川、精進川、小松谷川、日野川、板井川

※留意事項

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した前報計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご覧ください。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

凡例

- ～ 0.3m未満
- 0.3m～ 0.5m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 1.0m～ 3.0m未満
- 3.0m～ 5.0m未満
- 5.0m～ 10.0m未満
- 検査区間



＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・令和2年 月 日
- ◎対象区間・・・日野川：江府町久連～日南町新屋
近江川：日野町中管近江～日南町花口中花口
- ◎対象降雨・・・時間雨量62.2mm相当
(黒坂雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村・・・日野町、日南町

凡例

Yellow	～ 0.3m未滿
Light Green	0.3m～ 0.5m未滿
Light Blue	0.5m～ 1.0m未滿
Light Purple	1.0m～ 3.0m未滿
Light Red	3.0m～ 5.0m未滿
Dark Red	5.0m～ 10.0m未滿
Blue outline	検討区間

＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野原川、大野川、養正川、日置川、海生川、小田川、河内川、坂原川、八束川、私懸川、三徳川、東郷川、由良川、加茂川、道加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、板井原川

※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する機会や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。